

産地パワーアップ事業の取組事例

(沖縄県)

取組の概要

取組の概要：きく産地の形成の推進
計画作成主体：伊江村担い手育成総合支援協議会
対象品目：きく（産地面積：84ha）
主な取組主体：太陽の花伊江村パワーアップ部会
成果目標：販売額の10%以上の増加（総販売額）
助成金の活用：【生産支援事業】
状況：トラクター等のリース導入及び
ハウス資材、被覆資材等の導入

ポイント

トラクターを導入して規模拡大を図る。
また生産拡大に伴い収穫時間と選別時間が長くなるので品質維持の為に冷蔵庫の導入を行い、計画生産と品質向上のため、台風対策に対応した生産資材を導入する事で、効率の良い栽培を行い品質向上を図る。

地区の概要



推進体制

- ①担い手総合支援協議会：担い手の育成に向けた簿記講座等を開催
- ②村農林水産課：農業基盤整備事業、末端かんがい排水事業及び担い手育成事業等の実施
- ③県農業改良普及課：経営面と技術面が一体となった栽培技術普及の推進
- ④土地改良区：水利施設の展開や維持管理の実施
- ⑤沖縄県花卉園芸農業協同組合(太陽の花)・JAおきなわ：生産・供給体制の推進、栽培技術の指導

産地の現状と目標

〈現状〉

作付面積：84ha（出荷数量：33,815千本）
10当り生産量40,170本
平均単価：46.2円
販売額：1,625百万円

〈目標〉

作付面積：86ha（出荷数量：36,500千本）
10当り生産量41,860本
平均単価：47.0円
販売額：1,788百万円

地域における独自の取組

〈主な取組〉

平成29年度から用水を使った農業が展開されていく中で、①～⑤の推進体制の協力のもと、担い手育成、基盤整備を進め、農業振興と伊江村発展を目指していく。

〈県・村単独事業〉

村単独：伊江村堆肥利用推進事業
県・村：担い手向上支援事業
国・県・村：団体営農地保全整備事業
団体営基盤整備促進事業
管理省力化施設整備事業

事業効果

- 土地改良区の設立に伴い、かんがい施設を生かした農業を展開。その中でくきく産地の形成を図る。
- 機械導入による規模拡大
- 島しょの課題となる品質劣化に対し低温一時保存による品質維持
- 季節風対策に対応した生産資材を導入し、品質の向上

計画承認

～きくの販売額～

